

Ⅱ. 個室ユニット型特別養護老人ホーム 芦風荘 事業計画

1. 利用定員 100人

2. 基本方針

開設4年目を迎える本年度は、原点回帰の年として『共に笑い、共に楽しみ、共に悲しむ家族』をテーマに、今まで過ごしてきた『自分らしく生き生きと』した生活が、芦風荘に入居した後も継続できるように、自己決定を尊重し、家族として寄り添い、家族として支え合えるケアを目指します。

3. 基本計画

1) 安全と健康は施設の使命

介護事故防止を図る為に、リスクマネジメントフローチャートを活用し、危険因子の要因分析に伴う防止対策の立案と実施後の評価を確実にするPDCAサイクルシステムを構築する。

2) 地域福祉の拠点として寄与貢献

尼崎市で、特別養護老人ホームを2施設運営しているスケールメリット及び、多様な在宅事業を展開している総合福祉施設として、地域福祉に貢献する。

3) 相互協調による定着率の向上

職場内の福利厚生面の充実及び、職場外でのスポーツ交流や文化活動により、相手を理解し信頼できる環境作りを進め、職員の定着率の向上と資質向上を実現する。

4) 質の高いケアの提供

個室ユニット型施設としての特性を活かし、看取りケアを含む重度化対応、認知症ケア、口腔ケア等々高品質ケアを提供する。また、高齢者の尊厳を守る心のケアを重視した接遇を実践する。

5) 明るい透明な施設経営と運営

政府が推進している、社会福祉法人改革の動向を注視し、信頼される社会福祉（非課税）法人として、情報公開を積極的に推進する。また、地域でのセーフティネットの機能が十分に発揮できるように事業展開する。

4. 事故防止対策について

1) リスクマネジメントフローチャートの活用

入居者、職員及び環境面から危険要因を詳細に分析し、事故防止対策を立案します。立案した防止対策について、2週間後の再評価により、継続又は、変更等を検討するPDCAサイクルを構築し、事故発生件数の削減を図ります。

2) ヒヤリハット事例の分析

ヒヤリハット報告が減少しています。職員の意識付けにより、ヒヤリハット報告書件数を増加させ、分析による危険要因の早期発見と防止対策を徹底することにより事故を未然に防ぐ体制を整備します。

3) 事例検討研修会の開催

事故防止の職員意識を高めるために、実際の事故事例に基づく施設内研修会を定期的実施し、情報の共有による事故防止対策を徹底します。

5. 健康管理について

1) 協力医療機関

名称	所在地	入院	通院	診療科目
安藤病院	尼崎市	○	○	内・外・整・脳外・他
合志病院	尼崎市	○	○	内・外・整・脳外・他
大隈病院	尼崎市	○	○	内・外・整・心外・他
立花病院	尼崎市	○	○	内・外・整・泌尿・他
辻クリニック	尼崎市		往診	内・呼・循・胃腸・放
上枝診療所	尼崎市		往診	心療内科
高田泌尿器科	尼崎市		往診	泌尿器科
かんだクリニック	尼崎市		往診	皮膚科・形成
山下眼科	尼崎市		往診	眼科
いがらし耳鼻咽喉科	尼崎市		往診	耳鼻咽喉科
松田歯科	尼崎市		往診	歯科

2) 看取りケアの実施

平成 26 年度に看取り指針の整備及び、マニュアル類の更新を実施しました。平成 27 年度は、職員研修を実施した上で、嘱託医の協力を仰ぎ、看取り介護に対応します。

6. 24 時間シートの活用について

1) 全入居者の 24 時間シートを作成

ヒヤリングで収集した、入居者の暮らしぶりを24時間シートに展開する。本年度上半期中に全利用者について作成します。

2) 24時間シートの活用

24時間シートに則り、全職員が統一した質の高いケアを提供します。また、入居者の状態像等の変化に配慮して逐次見直しを図り、入居者の自己決定による生き生きとした生活が送れるように支援します。

3) 寛げる住環境の提供

入居者の暮らしぶりに応じて、ユニット内が自宅と思えるように、ゆったりと寛げる住環境の提供をユニット毎に、特徴（花木・金魚等）のあるテーマを決めて整備します。

7. 栄養食事サービスについて

1) 口腔ケアの充実と経口摂取の維持

入居者が認知機能や摂食・嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難となっても、自分の口から食べる楽しみを得られるよう、他職種（管理栄養士、言語聴覚士、看護師等々）による支援の充実を図ります。

2) 豊富な食事メニューの提供

平成26年度に給食委託業者の変更を実施し、約1年が経過し、ようやく新メニュー等の提供が出来る段階になりました。今後は、入居者や利用者の要望が、メニューに反映されるように、施設の管理栄養士が嗜好調査等を踏まえて、メニュー構成に意見が言える体制の整備を図ります。

3) 給食委員会の意見を反映できる仕組みを構築

毎月1回の給食委員会において、様々な意見が入居者や現場職員からあげられます。ただし、その意見が改善に結びついていないのが現状です。今年度は、一つ一つの意見を確実に改善に結び付ける仕組みを構築し、栄養食事サービスの質の向上を図ってまいります。

4) 食事イベントの開催

本年度は、委託業者の協力を得てバイキング形式での提供や、手打ちそばの実演等々、食事を楽しめるイベントを定期的実施します。また、郷土料理で、故郷に想いを馳せる日本麺紀行メニューの提供を実施します。

8. 生き生き介護スクール in 芦風荘の定期開催について

1) 受講生の確保

回を重ねる度に、受講者（地域住民）も定着してきました。今年度は、更に受講率が上がるように、受講手帳の作成やテストの実施等を企画します。

2) 講義内容の充実

介護技術講習会（プロの技教えます）や認知症予防研修会等々、テーマの選定を慎重に行うことにより受講者の興味が湧くように企画します。また、外部の専門家の協力を得る等、内容の充実も図ってまいります。

3) 出張講演の拡充

平成 26 年度に引き続き、老人会や町内会の依頼に依って、地域高齢者向けの介護関連講習会を継続開催してまいります。

9. 地域連携防災体制の確立について

1) 地域住民共同防災訓練の実施

平成 27 年度は、隣地のマンションの自治会と協力し、共同防災訓練を企画します。災害時におけるリスク軽減を実現するために、近隣住民と協働体制を確立できるように取り組みます。

2) 施設（地域交流スペース）積極活用

地域住民の方々に対し、芦風荘をもっと知って頂くために、地域交流スペースの積極的な活用方法を模索検討します。

3) 非常用物品等の備蓄

毎月 1 回、非常災害用備品及び、非常食と飲料水、緊急時連絡網を点検整備いたします。

4) 救命救急講習について

施設内に AED を 2 台（1 階フロアー・特養フロアー）設置しております。尼崎市消防署に指導を仰ぎ、全職員対象に AED の操作を含めた、救命救急講習会を実施します。

10. 職員配置について

1) 新入職者に対する指導教育の充実

新入職者 4 名に対し、充実した指導教育を計画的に実施することにより、同期生意識を醸成し、定着率の向上と競争心による資質向上を図ります。

2) 職場外交流の実施

職場を離れ、仕事外での交流が図れるように、定期的に西長洲荘の職員も含めた、スポーツ交流会等を企画します。スポーツによるストレスの発散とチーム分けによる仲間意識の醸成により職員の定着率向上を図ります。

3) 個人別目標管理と面談評価

平成 27 年度も継続して、目標管理シートに基づいた、個人面談を実施します。現場での悩みや目標に対する進捗を確認することにより、職員の勤労意欲を引き出します。

4) 安定した施設運営

初級（1年未満）、中級（1～3年）、中上級（3～6年）、上級（6年以上）のバランスに配慮した採用計画を実施します。来年度の新卒者採用に向け、就職フェアでの求人ツール等の充実を図ります。また、介護専門学校との関係強化を図ってまいります。

5) 常勤管理医師の採用

看取りケア等医療面の充実を図る為に、常勤管理医師の求人活動を継続し、採用出来るように努力します。

【職員配置予定 特養・ショートステイ】

	職種	基準人員	実員(常)	実員(非)	常勤換算後計
特養	施設長	1	1		1
	事務主任	1	1		1
	事務員	必要数	4		4
	生活相談員	1	1		1
	介護支援専門員	1	1		1
	介護部長	1	1		1
	介護主任	1	1		1
	介護職	29	40	15	49
	看護師	5	5		5
ショート	生活相談員	1	1		1
	介護職	5	5		5
	看護師	1	1		1
	医師	1.05	1	2	1.08
	管理栄養士	1	1		1
	機能訓練指導員	1	1		1
	理学療法士			1	0.3
	言語聴覚士			1	0.1
	合計	50.05	65	19	74.48

1.1. 運営面について

平成27年度は、平均▲2.27%の介護報酬減額改定が実施されます。特に、特別養護老人ホーム等においては、収支状況等に応じた適正化という名目で、▲4.48%もの減額改定が実施されます。また、経費面においては、関西電力による電気料金の大幅値上げがあり、オール電化である芦風荘の場合、年間電気料が約400万円も増加するという試算が、関西電力より示されています。

ます。

今年度は、特養の空床が出ないように、入居者・入院者の状態把握を徹底し、入退居をタイムリーに実施出来る体制を確立します。また、健康管理の充実により、平均入院者数3名以下を目標に、稼働率97%以上を維持します。各種加算要件を満たす体制を整備し、高品位サービスを提供することにより、加算報酬を算定します。経費面においては、中央管理システムを有効に活用して、更なる省エネを推進すると共に、あらゆる経費の見直しにより経費削減を図ります。

特別養護老人ホームにおいては、平均介護度4.2、平均稼働率97%を目標とし、安定した運営を図ってまいります。

Ⅲ. 平成27年度 ショートステイ 芦風荘 事業計画案

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

1. 利用定員 20人

2. 基本方針

ご利用者様の心身機能を踏まえて、その有する能力に応じ、住み慣れた地域で、自己決定と尊厳を守り、自立した在宅生活が継続できるように、日常生活の支援及び機能向上訓練を行う。また、ご家族様の身体的及び精神的介護負担の軽減（レスパイトケア）を図る。

3. 基本計画

1) 中重度者の利用促進

地域包括ケアシステムの中核を担うべく、中重度者の在宅生活の継続を支援するために、特別養護老人ホームで培った質の高いケアを提供する。

2) 緊急性の高い方の利用促進

地域より緊急性の高い利用者の依頼が多く、可能な限り迅速に対応しています。平成27年度からは、介護報酬に加算が認められました。今まで以上に地域貢献を推進するために、緊急利用に柔軟に対応します。

3) 質の高い在宅生活の継続

質の高い在宅生活の継続を図るため、機能訓練の充実を図ります。専任の機能訓練指導員が利用者宅を訪問し、充実した在宅生活の継続が出来るように生活機能向上の視点から、訓練計画を立案し質の向上を図ります。

4) 目標稼働率について

入院者の空床利用の更なる促進を図り、稼働率 100%以上を目標として、経営の安定を図ります。長期利用者の減算対策や各種加算算定の対策を実施します。

4. 職員配置予定

職員配置予定は、特別養護老人ホームの配置予定表の通り。

IV. 平成27年度 デイサービスセンター 芦風荘 事業計画案 (通所介護事業・介護予防通所介護事業)

1. 利用定員 30人
2. 営業日 月曜日から土曜日
3. 基本方針

利用者様が、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ質の高い自立した生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の介護や機能訓練等を行う。また、社会性の維持のために、対人援助を行うと同時に、ご家族様の身体的及び精神的介護負担の軽減（レスパイトケア）を図る。

4. 基本計画

1) 要介護中重度者に対するケア体制の充実を図る

特別養護老人ホーム併設型で、設備に恵まれた事業所としてのメリットを活かし、要介護3以上中重度の利用者が、住み慣れた居宅での生活が継続できるように、重度化に対応できるケア体制を充実します。

2) 認知症ケア体制の充実を図る

認知症利用者が、質の高い在宅生活を継続できるように、家族や介護者と共同した認知症ケア体制を構築し、他事業所との差別化を図り、利用者満足度を向上させることにより、高稼働率の維持を図る。

3) 機能訓練の充実と社会参加の機会を提供する

利用者の居宅での暮らしぶりを把握することにより、質の高い生活が実現できるように、個別の機能訓練プログラムに沿った訓練を実施する。また、季節行事（花見、買い物・外食などの外出企画、季節感が味わえる行事）を充実させ、社会参加の意欲を促します。

4) 要支援者に対するサービス提供方法を検討する

介護保険制度改定により、介護予防給付からデイサービスが除外され、介護予防・日常生活支援総合事業として位置付けられることが決まりました。平成29年度までの経過措置期間に、要支援者に対するサービス提供のあり方を検討します。

5) 目標稼働率について

年間平均稼働率85%を目標にします。今年度は、介護報酬改定により、基

本単位が平均▲5.2%ダウン、売上ベースで約 450 万円減収見込みとなります。体制整備による加算単位を算定することにより、経営の安定を図ります。

5. 行事計画

1) 壁紙作成

- ・季節にちなんだ壁紙を作成する（1回/2ヵ月）

2) 食事&おやつレクリエーション

- ・昼食時に鍋物等企画食の提供やおやつバイキングを企画する（1回/月）

3) 誕生日会の開催

- ・誕生日カード及びプレゼントでお祝いする（随時）

4) レクリエーションの充実

- ・曜日対抗のゲームや集団運動レクリエーション
- ・個別頭脳体操（頭の体操）

5) 年間行事計画

月	行事内容
4月	お花見（庄下川沿いの公園に外出）
5月	買い物ツアー
6月	春の行楽地遠足
7月	外食ツアー
8月	夏祭り（納涼祭後に夏祭り週間）
9月	敬老会（職員による出し物）
10月	運動会（運動レクリエーションとして企画）
11月	文化祭月間（創作作品の展示）
12月	クリスマス会（クリスマスプレゼント）
1月	外出支援月間（利用者の個別希望を実現）
2月	外出支援月間（利用者の個別希望を実現）
3月	外出支援月間（利用者の個別希望を実現）

6. 職員配置予定

職種	基準人員	実員（常）	実員（非）	常勤換算後計
管理者（兼務）	1	兼務		1
生活相談員	1.2	1.2		1.2
介護職	4	3.8	2	5.8
看護師	1	1		1
機能訓練指導員	1	兼務		1

V. 平成27年度 ケアプランセンター 芦風荘 事業計画案 (居宅介護支援事業・介護予防支援事業)

1. 営業日 月曜日から金曜日
2. 営業時間 午前8時30分から午後5時30分まで
3. 基本方針

芦風荘居宅介護支援事業所は、法人理念及び介護理念に沿った運営を行うと共に、「自分らしく生き生きと」を念頭に利用者様ができる限りその居宅において、有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、利用者様の意思及び人格を尊重した、公正中立な立場で適正な居宅サービス計画を策定出来るように、医療関係機関及び事業所との連携に努めます。また、法令を遵守し、適正な事業運営を実施致します。

4. 基本計画

1) 公正中立な立場で、適正な居宅サービス計画を作成

居宅サービス計画に沿って、事業所等の実施したサービスのモニタリングを徹底することにより、ケアプランの目標達成に適した事業所の選択を利用者に提案することにより、特定の事業者に偏ったケアプランの作成を避ける。

2) 在宅中重度者の受け入れ体制の構築

主任介護支援専門員を中心として、支援チームで活動することにより、24時間体制の支援を可能にし、中重度者の在宅生活の質の向上を図る。

3) 主任介護支援専門員による教育指導の充実

当事業所の担当プランについて、居宅サービス計画及び、サービス実施状況の把握及び評価を主任介護支援専門員が適切に評価し、担当の介護支援専門員にフィードバックすることにより、居宅サービス計画の質向上を図る。

4) 目標プラン件数

平成27年度は、介護プラン60件、予防プラン40件の計100件のプラン件数を目標とします。

5. 職員配置予定

職種	基準人員	実員(常)	実員(非)	常勤換算後計
管理者(兼務)	1	兼務		1
介護支援専門員	1	2	0.8	2.8

VI. 平成 27 年度 芦風荘福祉用具貸与事業所 事業計画案 (福祉用具貸与事業・介護予防福祉用具貸与事業)

1. 営業日 月曜日～金曜日
2. 営業時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分
3. 基本方針

要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況・希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助・取り付け・調整等を行い、福祉用具を貸与することにより利用者の日常生活の便宜を図り、利用者を介護する者の負担の軽減を図るものとする。また、要支援者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、要支援者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助、取付け、調整等を行い、福祉用具を貸与することにより、要支援者の生活機能の維持又は改善を図る。

4. 基本計画

- 1) アセスメントを綿密に行い、利用者毎に個別の援助計画（福祉用具貸与計画書）を作成します。定期的にモニタリングを実施し、質の高いサービスを継続的に提供します。
- 2) 利用者並びに介護支援専門員からの要望に対しては、迅速かつ柔軟に対応し、専門的見地から安全な居宅生活の継続を支援します。
- 3) 地域福祉の拠点としての機能を発揮するために、他事業と協力して質の高い総合的な介護サービスを提供します。
- 4) 本年度においては、20件の契約を目標に営業努力します。

5. 職員配置

職種	基準人員	実員(常)	実員(非)	常勤換算後計
管理者(兼務)	1	兼務		1
福祉用具 専門相談員	2	1	1.0	2.